

江東区立平久小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0042 江東区木場 1-2-2
校 長 金岡 香恵 副校長 林 興平

電 話 03-3649-4403
教職員数 担任 4名
講師 3名
介助員 6名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	4	5	6	3	0	3	21

開校96周年 令和6年度テーマ「笑顔あふれる学校」～みんな、かがやく！～の実現をめざして

指導の重点

- ・言語や文字についての関心を高め、話す・書く・読むなど、基礎的な力を育てる。
- ・具体物などの操作的活動を通して、数と計算・量と測定及び図形についての基礎的な力を育てる。
- ・鍵盤ハーモニカ・ミュージカル等の合奏と季節の歌の歌唱等を行い、表現する。
- ・持久走やリトミック等を行い、基礎的な体力の向上を図るとともに、ボール、なわとび、跳び箱、マットなどを使った運動を行い、調整力を高める。
- ・季節の花を描いたり、季節の飾りや遊べるおもちゃなどを作ったりして、表現する喜びや、作品を作る楽しさ、作ったおもちゃで遊ぶ楽しさなどを味わわせる。



自然と親しみ、人やものと進んで関わろうとする豊かな心を育てるための教育

育てて観察しよう 菊、チューリップ、ミニトマト等の栽培 かんたん調理の実施
友達との交流 縦割り班活動、教科の授業、社会科見学、運動会、展覧会等で通常学級や幼稚園と交流
作って飾ろう・遊ぼう 粘土作品、釣り、動くおもちゃ、季節の遊び道具等の作成、活用
お楽しみ会(月1回) 児童が主体で計画を立て、お誕生日会やゲームを実施

江東区立東陽小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0016 江東区東陽 3-27-12
校 長 佐藤 友信 副校長 柴田 あゆみ

電 話 03-3649-1861
教職員数 担任 5名
講師 2名
学習支援員 9名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	5	8	3	0	10	2	28

◇教育目標

- 自分のできることを自分でしようとする子
- みんなと協力する子
- 仲よく元気に遊ぶ子

◇指導の重点

- ・小集団・たてわり集団と個人の良さを生かした指導計画を作成し、個々の児童が自らの力を十分発揮できるよう指導の充実を図る。
- ・自立した生活に必要な**基本的生活習慣や行動能力**を身に付ける指導を工夫し、自ら進んで取り組む態度を育てる。
- ・通常学級や地域社会、区内特別支援学級との交流を図り、人との関わりを大切にする心や相手を思いやる気持ちを育てる。
- ・教育活動全般を通し**多様な表現力の育成や健康な身体、コミュニケーション能力**の育成を目指す。
- ・学校と家庭との連携を密にし、相互に理解協力し合い、児童一人一人の成長を支援する。



江東区立元加賀小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0021 江東区白河4-3-19 電 話 03-3643-7545（直通）
校 長 中村 太朗 副校長 大塩由美子 担任4名 講師3名 支援員5名

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
児童数	5	2	3	1	4	5	20

《学級の教育目標と指導の重点》

【自分で考え 自分で選んで 自分で行動する子】

- こどもの特性や発達段階にあった指導計画を作成し、一人一人の能力が十分に発揮できるようにしています。
- 日常生活に必要な基本的生活習慣や行動様式を身に付けるために、学び方スタンダードも取り入れながら指導をしています。
- 自分で考え、自分で選び、決められる授業、分かりやすく、友達同士がかかわり合う授業を目指します。国語・算数ではグループ別学習を行います。

【進んで友達を思いやり 仲良くする子】

- 集団で遊ぶ楽しさや、きまりを守ることの大切さについて体験を通して学べるようにします。
- 通常の学級や地域社会と積極的に交流を図り、人とのかかわりを大切にする心や相手を思いやる気持ちを育てます。
- 実態に応じて、通常の学級と継続的に交流し、成長につながるようにします。

【心も体も健康で丈夫な子】

- 体育や休み時間の外遊びで、こどもが面白いと感じる多様な動きを取り入れ、体を動かすことが楽しいと感じられるようにします。
- 望ましい食事のマナーや歯磨き習慣が身に付くような指導を行ったり通常の学級や栄養士と連携して食育を行ったりします。
- 学校と家庭との連絡を密にし、相互に理解協力し合い、連携を大切にします。



令和4年度より教室が新しくなりました。



江東区立東川小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0002 江東区住吉1-12-2 電 話 03-3634-0194
校 長 安田 照雄 副校長 丹野 智之 教職員数 教諭 3名
学習支援員 3名

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	3	1	3	1	3	0	11

友達と協力し、仲よく生活する態度を育てる

- 通常学級と交流（学校行事、フレンドグループ活動）
- 区内特別支援学級との連合行事（運動会、展覧会、宿泊行事）
- スクールカウンセラー・教育相談員との連携



進んで学び、自ら考える児童に育てる

- 個別的な指導やグループ指導の充実
- パソコン学習 ○外国語活動 ○創作活動
- 朝の読書活動 ○ボランティアによる読み聞かせ



自分の思いや考えを豊かに表現する意欲や態度を育てる

- リズム遊び・造形遊びの指導
- お休みの日のスピーチ

健康で安全に生活する態度を育てる

- 安全指導の充実
- 学び方スタンダードの定着
- 体力向上を目的とした活動（東川モーニングランなど）



江東区立豊洲小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0061 江東区豊洲4丁目4番4号
校 長 鈴木 陽子 副校長 蜂谷 顕一 ・ 幾島 美香

電 話 03-3532-4696
教職員数 教員 5名
学習支援員 8名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	4	5	8	3	3	4	27

■沿革 昭和22年 4月 開校式
昭和46年 4月 特別支援学級開設



特別支援学級の教育目標

自分のことは自分でする子

仲よく助け合う子

進んで学ぶ子

明るく元気な子

教育目標を達成するための基本方針

社会的な自立を目指し、基礎的学力と基礎的生活習慣を身に付ける。

思いやる心・豊かな心の育成を目指し、様々な交流を行い、社会性を培う。

こうとう学びスタンダードの各項目を徹底し、学力を定着する。

個々の児童の状況に合わせ、体力を増進する。

特色ある教育活動 地域の学習や行事に楽しく参加し、地域を愛する心を育む

指導の重点

- * 人権尊重の精神を基盤として、一人一人の児童の個性を伸ばし、児童の成長を促す。
- * 人とのかかわりを楽しみながら、協力して取り組む活動を重視する。

江東区立有明小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0063 江東区有明2-10-1
校 長 武田 淳 副校長 和田 直己

電 話 03-5530-0315
教職員数 教諭 4名
講師 2名
介助員 5名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	7	2	4	2	5	4	24

□沿革 平成23年 4月 開校
平成24年 4月 特別支援学級開設

□学級の教育目標

- 進んで学ぶ人
- 友達と関わり、仲よくする人
- 明るく元気な人



□指導の重点（抜粋）

- ☆基本的生活習慣の確立を目指し、身の自立を図ります。
- ☆児童の特性や発達段階に応じた課題を設け、情緒の安定を図りながら、意欲的に学習に取り組めるようにします。
- ☆成功体験を積み重ね、自己肯定感を育んでいきます。
- ☆友達との関わりを重視し、集団の中で、社会性が身に付くようにします。
- ☆交通安全指導に全学年で取り組み、安全への意識を高めていきます。
- ☆有明中学校との交流等、小中連携教育を充実させ、中学校進学に向けた円滑な接続を図ります。



令和 8～9 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立枝川小学校（特別支援学級）

住 所 〒135-0051 江東区枝川 3-5-3 電 話 03-3644-6565
校 長 加藤 勲 副 校 長 高野 敏郎、佐藤ゆきこ 教職員 教諭5名 講師3名 学習支援員6名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	9	2	4	6	5	4	30

○沿革 昭和35年4月 開校
平成21年4月 特別支援学級開設

○学級の教育目標

障がいによる様々な困難をみつめ、克服する力を養い、将来自立した生活を行うための基礎的・基本的な力を育てる。

- ・自分のことは、自分で解決しようとする力を育てる。
- ・通常学級の児童との交流及び共同学習を推進し、共生の心と態度を育てる。
- ・自分の課題に対して、最後まで粘り強く取り組み、努力する態度を育てる。

○基本方針

- ・基本的な生活習慣を身に付け、自立できる児童の育成を目指しています。
- ・個々の児童に合った学習や体験的な学習を重視し、学ぶ意欲と主体的な学習態度を身に付けます。
- ・生命や人権を大切にし、互いに認め合うことに目を向けさせ、望ましい人間関係を築きます。
- ・通常学級との交流を進めます。また、併設幼稚園との連携、地域社会とかかわる場を設定します。

○通常学級との交流

給食交流、社会科見学、食育体験、異学年交流活動、学校行事（運動会、遠足等）



江東区立香取小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0071 江東区亀戸 4-26-22 電 話 03-3684-6535
校 長 大森 千里 副校長 深井 俊哉 教職員数 教諭 4名
講師 2名
学習支援員 5名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	2	5	3	2	3	3	18

1 学級の教育目標

- 興味、関心を広げ、進んで学習に取り組む児童を育成する（考える子）
- 一人一人の目標に向かって、粘り強く努力する児童を育成する（がんばる子）
- じょうぶで健康な身体づくりに努める児童を育成する（じょうぶな子）
- 思いやりの心をもって、互いに協力し合う児童を育成する（思いやりのある子）



2 次のような点に重点を置いて指導しています。

ア 教科の指導

- ・発達段階に応じた個別指導計画に基づいて、児童一人一人の指導内容を設定し、国語、算数を中心として各教科において基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせています。
- ・教材教具を工夫して、学習意欲を高めています。
- ・『楽しい授業』をめざし、体験学習の機会を多く設けたり、合同学習を行ったりしています。

イ 生活の指導

- ・児童の実態を踏まえ、食事や排泄、着がえ等の生活習慣を身に付けさせ、身辺自立を図っています。
- ・道徳の時間や日常生活全般において、あいさつや社会生活のきまりを身に付けられるよう指導しています。

ウ その他の活動

- ・自然と親しむ体験活動や飼育・栽培活動を通して、人や生き物にやさしく接する心を育てています。
- ・学校行事等（運動発表会、社会科見学、クラブ活動等）を通し、通常の学級と交流をしています。
- ・町探検（公園等公共の施設の使い方、買い物の仕方）等の活動を通して、地域に関心をもたせるとともに、社会性を養っていきます。



江東区立第二大島小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0072

江東区大島5-52-15（仮校舎）
江東区大島3-16-2（8月末～）

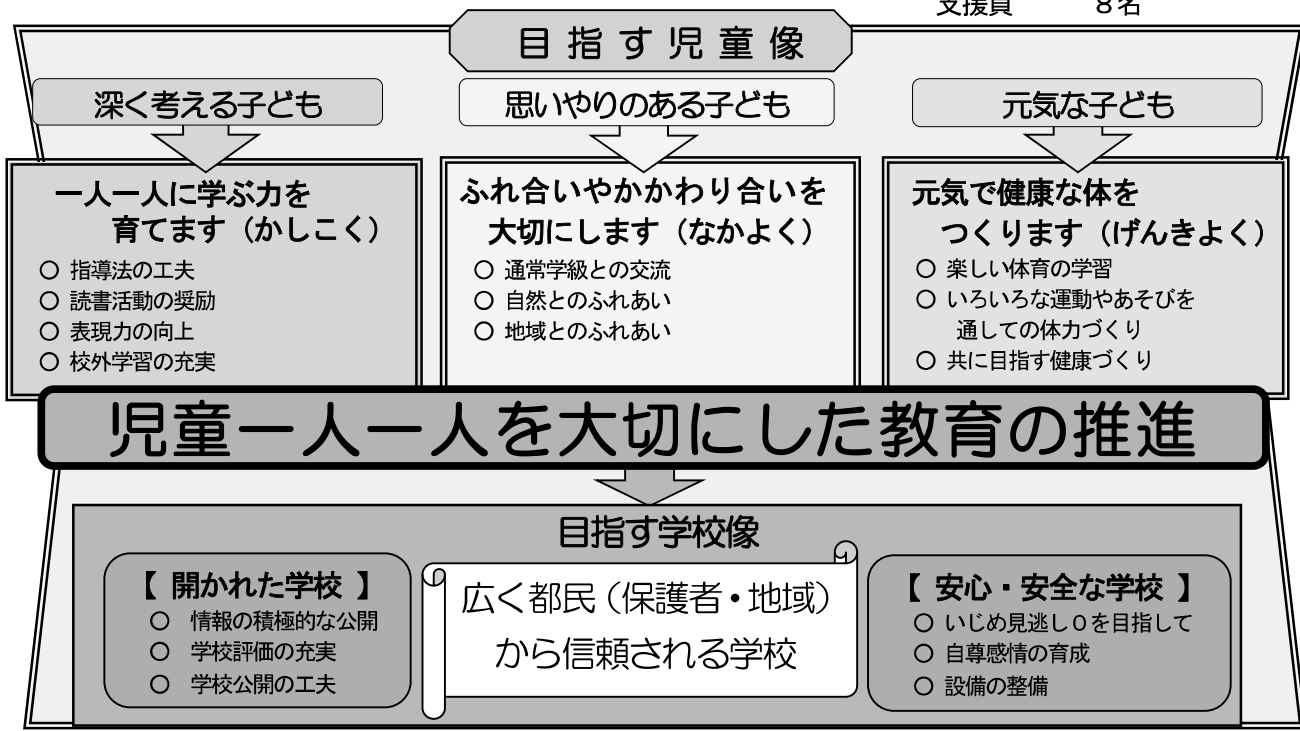
電 話 03-3684-6539
F A X 03-3636-9731

校 長 佐香 哲哉

副校長 小竹 宏明

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	9	7	6	5	6	2	35

教職員数 担 任 6名
講 師 2名
支 援 員 8名



江東区立第五大島小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0072 江東区大島8-40-13

電 話 03-3681-5011 F A X 03-3636-9734

校 長 青木 由美子

副校長 倉方 士郎

■特色ある教育活動

- ・学校行事での交流学習、縦割り班の活動を充実させ、相互の理解を深めることで思いやりの心や共に生きようとする態度を育てる。また学校探検、地域巡り、町探検、社会科見学、全校遠足での他学級との交流や近隣保幼小中との交流などを通して自然や地域に関心をもち、地域社会の一員としての意識を育てる。
- ・10月の読書月間では親子読書週間を設け、家庭での読書を通して家庭での親子の会話を増やし、読書に親しむ機会とする。
- ・体力を向上させて健やかな体を育成するために、ランニングや筋力トレーニングを行う。（なわとび週間、持久走週間なども含む）
- ・俳句作りや句会を通して季節を表す言葉を学び、自分の気持ちや感動を表現しようとする力を育てる。
- ・年間を通して誕生日会を行い、互いの誕生日を祝うことで、自分の命も友達の命もかけがえのないものであることに気づき、互いを大切にしようとする心情や態度を育てる。
- ・英語に慣れ親しむ活動を通して、他国の言語や文化について体験的に学び、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ・一人一台のタブレット端末を用いた情報の収集や発表、実技の様子等を共有できるように育てる。

■令和6年度 在籍児童（生徒）数

学年	1	2	3	4	5	6	計
男	1	5	2	4	5	5	22
女	1	1	0	1	1	0	4
計	2	6	2	5	6	5	26

■沿革

- 平成28. 4. 大規模改修により
旧大島南小学校仮校舎へ移転
- 平成30. 4. 第五大島小学校 特別支援学級開設
- 平成30. 7. 第五大島小学校 新校舎完成
- 平成30. 12. 開校60周年記念式典挙行
- 令和 2. 4. 東京都教育委員会人権尊重教育推進校
- 令和 4. 11. 開校65周年記念集会

江東区立第五砂町小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0074 江東区東砂 8-11-5
 校 長 小林 英忠 副校長 梅津 ちひろ
 教職員数 担任 4名 講師 3名 学習支援員 7名

電話 03-3646-4474（学校代表）
 03-3640-1702（学級直通）
 FAX 03-5690-4022

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	3	5	4	1	2	4	19

特別支援学級の教育目標

児童の実態に即して「たくましく生きる力」を身に付け、思いやりのある人間性豊かな児童を育成する。



指導の重点

- 身の回りのことに関心を持ち、学習する態度を育てる。
- 集団生活に参加し、行動する力を育てる。
- 健康な体と豊かな心を育てる。
- 自分のことは自分でやろうとする力を育てる。

特色ある教育活動

- ・ 通常学級との交流を進めています。
 （各学年の行事への参加や体育の授業など。）
- ・ 飼育・栽培のほか、手先の訓練を取り入れた活動をしています。

令和7年1月～令和9年9月に校舎等の改築工事が予定されています。工事期間中は、令和9年7月まで、仮校舎（旧大島南小跡地：大島5-52-15）で授業を行う予定です。通学は徒歩通学となる予定です。
 ※工事期間は、現時点での想定工事期間になります。計画内容や関係法令等改正に伴い、工期が変更になる場合があります。

江東区立小名木川小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0073 江東区北砂 5-22-10
 電 話 03-3644-2029（特別支援学級直通）03-3640-1703
 F A X 03-5690-4025
 校 長 鈴木哲哉 副校長 西川久美子 教職員 5名（5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	7	5	2	1	2	9	26

1. 指導について

ア 教科の指導

- 児童の発達段階に合わせて指導目標を設定し、各教科の基礎的基本的な内容を系統的に習得させる。
- 教材教具を工夫して、児童の学習意欲を高める。

イ 生活指導

- 食事や排泄、着替えなど基本的な生活習慣を身に付けさせ、身の自立を図る。
- 集団活動の中で学級の一員としての自覚をもち、主体的に友達と関わる力を育てる。
- 登下校の指導や日常的な安全指導により、安全に対する知識や意識を身に付けさせる。

ウ その他の活動

- コンピュータなどに慣れ親しむ活動など、情報機器を活用した指導を行う。
- 通常学級の児童との関わりを通して、より豊かな学校生活が送れるよう、学校行事や給食などにおいて、通常学級との交流を行う。
- 地域施設の利用や地域の人々との交流を通して、地域に関心をもたせ、社会性を養う。
- あいさつや自分を律することの大切さを、学校生活全体を通して身に付けさせる。

2. 主な行事（予定）

- 4月 始業式 入学式
- 5月 運動会
- 6月 夢の島宿泊学習（4・5年）
- 7月 学校公開 夏季水泳指導 特支連合日光移動教室（6年）
- 8月 水泳記録会
- 9月 全校遠足 仲よし校外学習
- 10月 前期終業式 後期始業式 連合運動会（6年） 特支連合運動会（全） 学校公開
- 12月 個人面談
- 1月 席書会 特支連合展覧会 学校公開・道徳授業地区公開講座
- 2月 学級お別れ会 6年生を送る会
- 3月 卒業を祝う会（6年） 修了式 卒業式

江東区立東砂小学校（特別支援学級）

住 所 〒136-0074 江東区東砂2-12-14

◇「魅力ある学校の創造」

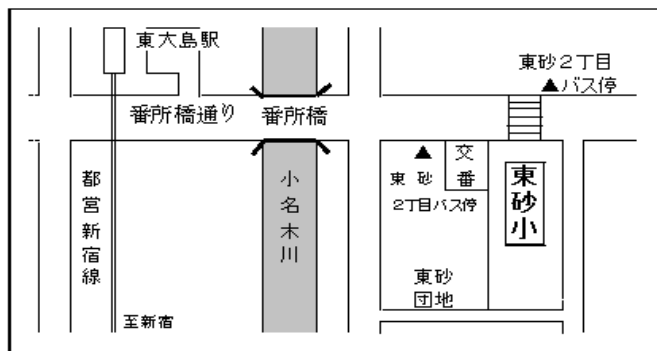
電 話 03-3648-5818

FAX 03-5690-4026

校 長 小坂 美智子

副 校 長 本堂 雅之

◇交通案内図



◆JR亀戸駅より都営バス

・「亀24」葛西橋行 東砂2丁目下車

◆都営新宿線東大島駅より都営バス

・「門21」門前仲町行・東陽町駅行

・「亀24」葛西橋行 東砂2丁目下車

(地図内▲印のバス停に止まります)

江東区立南砂小学校（特別支援学級）

令和2年4月1日開設

住 所 〒136-0076

江東区南砂2-3-21

電 話 03-3615-3681

校 長 石川 千影

副 校 長 田中 大輔

FAX 03-5690-4030

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	0	1	0	4	6	2	13

教職員数 担 任 3名
講 師 2名
学習支援員 5名

～ 特別支援学級の教育目標 ～

- 思 い や る 子…自己の気持ちをコントロールしながら、相手の気持ちを理解したりそれに伴った行動をしたりできる児童
- 考 え る 子…個々の能力を十分に生かしながら、創造的かつ柔軟に考えることができる児童
- 元 気 な 子…自分の身体の調子や特徴を知り、自らすすんで心身を鍛え、健康かつ安全な生活を送ることができる児童
- き ま り を 守 る 子…きまりの意味を理解しながら、それに伴う正しい行動をとることができる児童

<指導の基本方針>

- ・自然体験活動や文化活動による人とのふれあいを通して、社会性を高められるように努める。
- ・通常学級との交流および共同学習を通して、集団内における自立を促し、互いに認め合える心の育成を図る。
- ・一人一人の児童の特性に応じたきめ細かな指導を工夫する。
- ・ICT機器（タブレット）を活用し、自ら学べる環境づくりに努める。
- ・体育授業の改善を図り、児童の運動に親しむ能力を高める。特に体幹を意識した運動を多く取り入れる。